



Library
News 巻頭言

新館長 着任のごあいさつ

秋田大学附属図書館長 千代延俊



2025年4月1日付けで秋田大学附属図書館長を拝命致しました千代延俊と申します。

秋田大学手形キャンパスにある中央図書館と本道キャンパスの医学図書館を合わせた秋田大学附属図書館の館長という重責に身の引き締まる気持ちです。約30年前に、秋田大学鉱山学部の新生として附属図書館を利用していた私が、館長として恩返しできる機会を頂きまして大変光栄に思っています。微力ではありますが、秋田大学附属図書館を利用する学生、教職員の皆様や運営するスタッフの方々のお力をお借りしながら精一杯務めて参ります。

秋田大学附属図書館は、中央図書館と医学図書館を合わせて約54万冊の蔵書に加えて、鉱山、文学、医学に関連した大変貴重な図書、資料を保管しております。近年では電子ジャーナル化の流れで来館して冊子体を閲覧する利用者数は激減しておりますが、附属図書館では蔵書や貴重資料を有形で保管するとともに電子化を推進して、情報集積地の役割を果たしております。そのような状況のなか、附属図書館では災害に強い電動書架への更新や研究成果のオープンアクセス化、リポジトリ登録を強く推進して大学の研究教育、地域社会における「知識の拠点」としての機能を構築しています。

来館される皆さんへ向けて、附属図書館では従来のように静かな環境で利活用される場を提供するだけでなく、グループ学習や発表準備に多人数かつ対面で利用できるアクティブラーニングフロアも設定しています。一方で、コロナ禍を経た大学講義や社会の状況を鑑みるに、オンライン学習・ミーティング用の防音スピーキングブースの設定や学術情報リテラシー教育の提供などの新しい取り組みも必要ではないかと考えています。

秋田大学附属中央図書館、医学図書館に期待される役割は多岐に渡りますが、今年から新たな試みとして、学長、研究科長からのお薦めの一冊として、新生だけでなく在学生の皆様へも一読の価値ある書籍を紹介しています。温故知新の考えに基づいて、人と知が集まる秋田大学のシンボルとして、そして地域と本学をつなぐ窓口として、学内外の利用者の皆様と一緒にさらなる充実を図っていく所存です。皆様の御支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

Contents

巻頭言 新館長着任のごあいさつ	1
特別展示企画展「学長・学部長“おすすめ”の一冊」	2
貴重図書展示「明治時代の秋田医学校と医学生木田篤祐」/ 2025年度データベース契約変更のご案内 /	
電動集密書架の改修について	3
図書館からのお知らせ/ 本学教員著作寄贈図書/ 編集後記	4

特別
展示
企画展

学長・学部長“おすすめ”の一冊

～人生をゆたかにする本との出会い～

附属図書館では、学長、学部長、附属図書館長、医学部分館長から、学生に読んでほしい「おすすめの1冊」をご紹介します。下記の期間、館内で展示を行っています。

【中央図書館】4月4日(金)～4月18日(金)【医学図書館】4月21日(月)～5月9日(金)

南谷 佳弘 学長

『生き方』

稲盛 和夫 著 サンマーク出版



▼OPAC



推薦コメント
稲盛和夫氏の『生き方』は、単なる経営書ではなく、人生そのものを深く見つめ直す一冊です。氏が貫いた「思いの強さ」「正しい考え方」「たゆまぬ努力」、そして「利他の精神」は、どの分野においても普遍的な価値を持ちます。私は稲盛氏の哲学に深く共感し、秋田大学医学部附属病院の理念にもその言葉を取り入れました。この本の教えは、あらゆる分野で研究・教育に携わる私たちにとって、大切な指針となるでしょう。教職員・事務職員の皆様にも、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。

千代延 俊 附属図書館長

『新しい世界の資源地図 エネルギー・気候変動・国家の衝突』

ダニエル・ヤーギン 著 黒輪篤嗣 訳 東洋経済新報社



▼OPAC



推薦コメント
お薦めの本は多くありますが、やはり秋田大学の歴史を鑑みて鉱山・資源に関する書を秋田大学の学生の皆様にお薦めしたいと考えました。日々めまぐるしく変化する世界の情勢において、本書は発行年が2020年と真の最新情報ではありませんが、地政学とエネルギー分野の変化によって、世界各国の関係・パワーバランスや気候変動対策がどのように形成されていくのかについて読み解くことができる大変貴重な書籍です。

大森 泰文 医学部分館長

『隠喩としての病い』

Susan Sontag 著 富山太佳夫 訳 みすず書房



▼OPAC



推薦コメント
好きな本は多々あるものの、その殆どは学生に薦めてはならない本なのですが、本書は薦めても怒られないで済む1冊です。題材はSontagの「おはこ」ではないのですが、彼女の個人的経験を基に歴史や宗教、文化、心理学に広げて書いてあるため逆に読み易く、暇つぶしに読んで多少し頭が良くなる本です。現在、廃刊ではないものの手に入らない状態ですが、秋大図書館にはあるようです。原書なら普通に売っています。

国際資源学部長 柴山 敦 教授

『福島第一原発事故の「真実」』

NHKメルトダウン取材班 編 講談社



▼ドキュメント編



検証編▶

推薦コメント
2011年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う福島第一原発事故について、非常に詳しく書かれたお薦めの一冊です。次々に起きるトラブルとその対応を中心に、科学的な切り口、人間模様などが、詳細かつ多面的な視点で述べられています。同事故を取り上げた書籍は複数ありますが、読者を引き込む点では群を抜いていると思います。ぜひご覧ください。

教育文化学部長 大橋 純一 教授

『知の教科書 ソシユール』

加賀野井 秀一 著 講談社



▼OPAC



推薦コメント
本書は、現代言語学の父と呼ばれるフェルディナン・ド・ソシユールの理論を平易に解説した一冊です。ソシユールの思想は言語学の枠を超えて、私たちが生きる社会のあらゆる側面に深く影響を及ぼしています。「言葉とは何か」、「意味とは何か」といった根源的な問いを通じて、事物の存在や認識の仕組みを見つめ直す契機を与えてくれるでしょう。言語のみならず、哲学、文学、社会学に関心のある方にもお薦めしたい一冊です。ソシユールの知が拓く新たな世界を、この書とともに探求してみたいかがでしょうか。

医学部長 羽瀨 友則 教授

『平静の心:オスラー博士講演集』

William Osler [述] 日野原重明、仁木久恵 訳 医学書院



▼OPAC



推薦コメント
オスラー先生(William Osler, 1849-1919)は医師としてだけでなく、今日の医学教育の基礎を築いた偉人で、カナダのMcGill大学、米国のJohns Hopkins大学、英国のOxford大学において医学部の運営、医学教育システムの構築に多大な貢献をされた方です。本書は先生の講演をまとめた珠玉の著であり、読み返す度に医師として何年経っても心に響く内容と現在・未来にも通じる教訓に圧倒されます。『医学・医療はScienceに支えられたArt』と定義する一方でHumanityを最も尊び、この三要素が医療、医学には最重要であることを説いています。また『明日のことを思い煩うな、今日を精一杯生きよ』はオスラー先生がしばしば書いておられますが、私の座右の銘です。

総合環境理工学部 寺境 光俊 教授

『高分子合成の実験法』

大津隆行, 木下雅悦 共著 化学同人



▼OPAC



推薦コメント
本書は高分子の合成について、理論的な説明は最低限にとどめ、具体的な実験法を詳しく記載していることが特徴です。合成に使用する試薬の精製、合成法、構造解析、特性解析などについて、代表的な高分子を例に具体的に記載されています。今でも普段合成していない高分子を合成しようとするときなど、参考にすることがあります。高分子を専門とする学生に一度は見ていただきたい書籍です。

情報データ科学部長 長縄 明大 教授

『2050年の世界 見えない未来の考え方』

ハイミシユ・マクレイ 著 遠藤真美 訳 日本経済新聞出版



▼OPAC



推薦コメント
皆さんは2050年の世界がどうなるのか予想できますか。本書は、これからの社会がどのように変わっていくのかが気になる方へお薦めの一冊です。AIやデジタル化、人口やエネルギーの問題、気候変動、経済成長、新興国の台頭など、2050年に向けた世界の変化を多角的に分析し、技術革新がもたらす影響や社会の変化、地政学的課題など、未来に関わる重要な内容が述べられています。未来を考えたい方の一助にきつとなるでしょう。

それぞれの書籍は秋田大学生協店舗で購入・注文可能！

※2025年現在書店で流通していない書籍は、原著や関連書籍等の手配となる場合があります。

貴重図書展示

きだ とくゆう

明治時代の秋田医学校と医学生木田篤祐

秋田大学附属図書館では、貴重図書コレクションとして登録された「秋田医学校関連資料」15点を展示いたします。

<期間と会場> ※附属図書館HPで開館時間をご確認のうえご来場ください。

◎中央図書館

令和7年4月1日(火)～25日(金) 中央図書館 1階ラウンジ

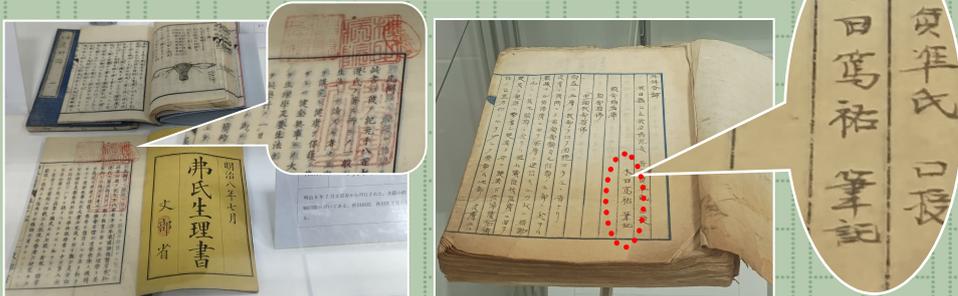
◎医学図書館

令和5年7月(水)～30日(金) 医学図書館 1階入館ゲート横

秋田医学校は、明治時代の一時期だけ存在した県立の医学教育機関です。

本コレクションは、秋田医学校での講義を筆記した講義録や使用されたと思われる教科書のほか、講義録筆者である木田 篤祐の一族が残した治験記録を含むものです。江戸から明治にかけての秋田での医療や医学教育の内容を知ることのできる貴重な資料です。

秋田医学校についての紹介は、[本誌 No.31](#)にも掲載しています。



展示資料の中には、秋田医学校・当時の秋田病院の印があるものや、木田篤祐本人の署名が確認できるものも。ぜひ実物を見て探してみてください。



2025年度データベース契約変更のご案内

【中止データベース】…2025年3月末で契約が終了し、4月以降は利用できません。

- ◆Web of science
- ◆Journal Citation Research
- ◆Essential Science Indicators
- ◆EndNote Online(Web of Science導入機関向け)

※JCR契約終了に伴い、Impact Factorの確認ができなくなりました。研究力評価等の際は、[SciVal](#)など、他のツールで確認できる各種評価指標などをご活用ください。

【新規契約データベース】

ProQuest Health & Medical Collection	MEDLINE Ultimate	CINAHL
クラリバート社提供の医学系データベース。米国国立医学図書館(NLM)製作の医学文献データベースMEDLINE収載誌を中心とする医学系のタイトル等、約4,000誌の全文を提供。(※遅延(エンバゴ)が発生するタイトルもあります)	EBSCO社提供の医学系データベース。米国国立医学図書館(NLM)製作の医学文献データベースMEDLINEの全ての情報に加え、MEDLINEに索引されているタイトルのうち約3,100誌の全文を提供。	6,000誌以上の看護学及び健康全般に関する雑誌論文の抄録情報を収録した看護系データベース。

その他のデータベースの変更点等は、附属図書館HPのお知らせをご確認ください(<https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/ja/node/544>)。

また、令和7年度のさきがけDB、朝日新聞クロスサーチ、JDream3の学外接続用のID等は令和7年4月7日付けでAU-CIS「全学掲示板」及び anet「あなた宛のお知らせ」に掲示しています。

中央図書館書庫3階電動集密書架の改修について

中央図書館では、書庫3階の電動集密書架の改修を進めています。令和7年3月には、4ブロックある書架のうち1ブロックの改修が完了しました。令和8年度も、残る3ブロックのうちの1ブロックについて改修予定です。改修作業の日程等は、決定次第HP、anet、AU-CIS等でお知らせいたします。



図書館からのお知らせ

【教職員向け】図書館の各種カードと申請方法について

各種カードの申請は、所属する地区の図書館サービスデスクで承ります！

手形地区…中央図書館
本道地区…医学図書館

マークについて



←手形地区中央図書館で申請・利用可能



←本道地区医学図書館で申請・利用可能



- ◆入館や図書・雑誌の貸出で必須となるカード
- ◆My Libraryの利用に必須(学外文献複写・図書の取り寄せ、研究費での図書購入依頼 等)
- ◆発行したカードは中央・医学両館で利用可能！



図書館所蔵資料の公費によるコピーができる
※コピーカードの受付・発行は中央図書館のみ
(医学図書館を含む本道地区の公費コピーカードは、図書館で管理していません。担当部署にお問い合わせください。)



夜間等の閉館中、館内資料閲覧のため入館する際、玄関の自動ドアを解錠するカードキー
※即時発行はできません。申請後数日～1週間程度お時間をいただきます。中央図書館は運用休止中です(再開未定)。
※閉館中は、資料の館外持ち出し等、一部のサービスは利用できません。
※医学図書館の特別利用時は「利用者カード」もご持参ください。

附属図書館各担当の問合せ先

※外線電話は頭に018-889(中央) / 018-884(医学)を、メールは@の後ろに「jimu.akita-u.ac.jp」を付けてください。

	中央図書館	医学図書館
カード類の発行、資料の貸出/返却、広報や利用案内について 等	利用サービス担当 内線:2279 メール:libriyo@	医学部分館担当 内線:6052 メール:ibun@
学外文献の取寄せについて	利用サービス担当 内線:2279 メール:libriyo@	医学部分館担当 内線:6219 メール:mybun@
図書、視聴覚資料、電子ブックの購入・寄贈について	学術情報資源担当(図書) 内線:2274 メール:libtos@	医学部分館担当 内線:6052 メール:ibun@
雑誌、雑誌製本、電子ジャーナル、データベース、学術情報リポジトリについて	学術情報資源担当(雑誌) 内線:2281 メール:libzas@	医学部分館担当 内線:6052 メール:ibun@

本学教員著作寄贈図書

本学教員が著し、寄贈いただいた資料です(分担執筆含む)。

書名	寄贈者(敬称略)	請求記号
あきた弁：一語一会	佐藤稔(教育文化学部) 著	818.24 Sa85

編集後記

新館長をお迎えし、新体制の附属図書館が始まりました。「知識の拠点」としてより充実したサービスを提供できるよう、職員一同努めてまいります。

この春は学長・学部長おすすめの一冊や、秋田医学校など、様々な展示を行いました。附属図書館では随時展示を行っており、今年度も様々なテーマ展示を予定しています。普段触れる機会の少ない分野の本を知る機会として、ご来館の際はぜひ館内の展示もご覧ください。



No. 32 令和7年 4月 28日 発行

編集・発行 ■ 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

中央図書館

医学図書館

TEL : 018-889-2279

TEL : 018-884-6052

FAX : 018-832-4917

FAX : 018-884-6252

MAIL: libriyo@jimu.akita-u.ac.jp

MAIL: ibun@jimu.akita-u.ac.jp